

Shibaura Machine

View the Future with You

株主の皆さまへ 第99期中間報告書

(2021年4月1日から2021年9月30日まで)

芝浦機械株式会社

証券コード：6104

Shibaura Machine

株主の皆さまへ



取締役社長
坂元 繁友

株主の皆さまには、平素よりご高配を賜わり、心よりお礼申し上げます。
ここに、株主の皆さまへ（第99期中間報告書）をお届けするにあたりまして、ひと言ごあいさつ申し上げます。

当第2四半期の状況と業績

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国の回復に一服感が見られるものの、米国など先進国を中心に回復基調で推移しました。わが国経済も輸出や生産に持ち直しの動きが続いています。しかしながら、新型コロナウイルス感染症再拡大や需要の急増を背景としたサプライチェーンの混乱等により、先行き不透明な状況が継続しています。

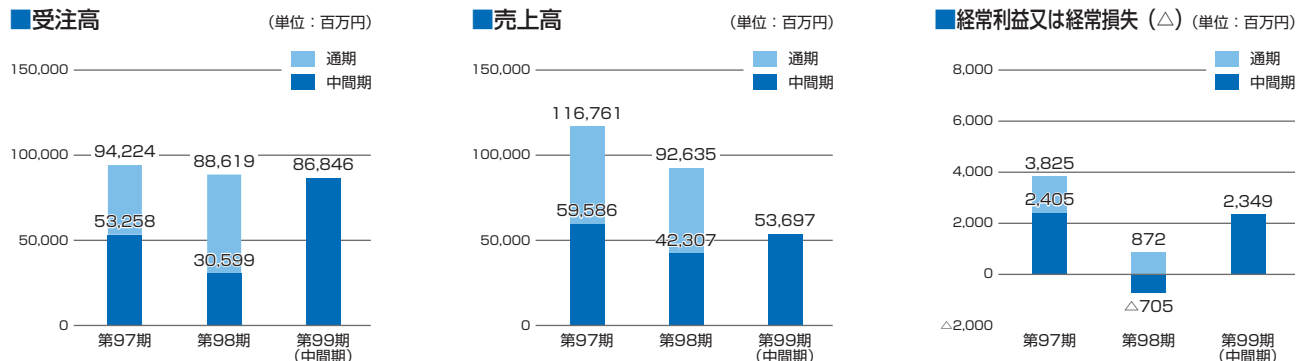
当社グループを取り巻く経済環境は、地域や業種により景況感に差異はあるものの、国内、北米、中国などを中心に設備投資需要の回復が進んでいます。また、世界的に脱炭素化などの社会課題解決に向けた動きが加速していることを背景として、

EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要拡大の動きが見られます。

このような経済環境のもとで、当社グループは中期経営計画である「経営改革プラン」に基づき、高収益企業への変革に向けて、組織再編を中核とした経営改革、成長分野に対応した投資の推進、資本効率（ROE）の向上を目指した財務戦略の実行に取り組むとともに、社会課題を解決する高付加価値商品の創出と高効率な生産の実現に向けたDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進しています。また、脱炭素化や環境関連ニーズの高まりに対し、EVや再生可能エネルギー向けの製品や環境調和型製品などの開発・販売への対応強化を進めました。

当第2四半期連結累計期間の受注高は868億4千6百万円（前年同期比183.8%増）、売上高は536億9千7百万円

業績ハイライト



(前年同期比26.9%増)となりました。損益については、営業利益は23億7千7百万円(前年同期は営業損失3億1千5百万円)、経常利益は23億4千9百万円(前年同期は経常損失7億5百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億9千2百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10億5千2百万円)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行なった結果、2021年5月12日公表の予想を修正いたしました。詳細は、2021年11月9日に公表いたしました「2022年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

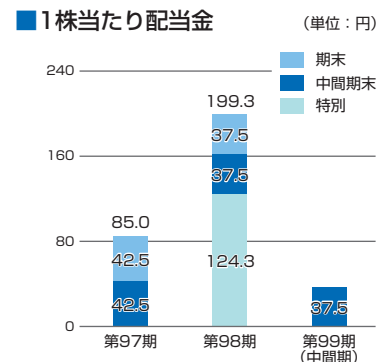
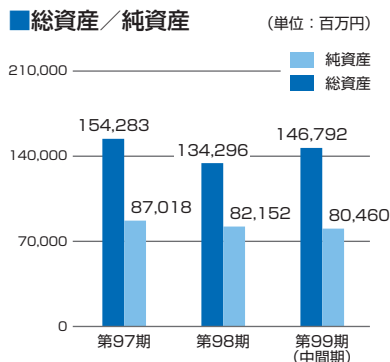
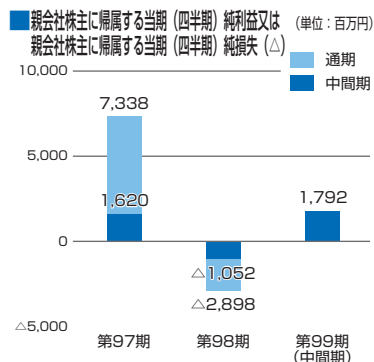
配当について

当社は、収益性の向上に向けて経営体質の強化を図りながら、安定配当を維持し、業績に応じた利益配分をしていくことを基本方針としています。利益剰余金については、企業の継続的發展のため将来の事業展開等を戦略的に判断し、生産設備、技術開発、海外展開等に有効に投資していくとともに、継続して株主の皆さまへの適正な利益還元を実施してまいります。

当期中間配当金については、1株当たり37.5円とさせていただきます。

株主の皆さまにおかれましては、何卒いっそうのご指導、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2021年12月



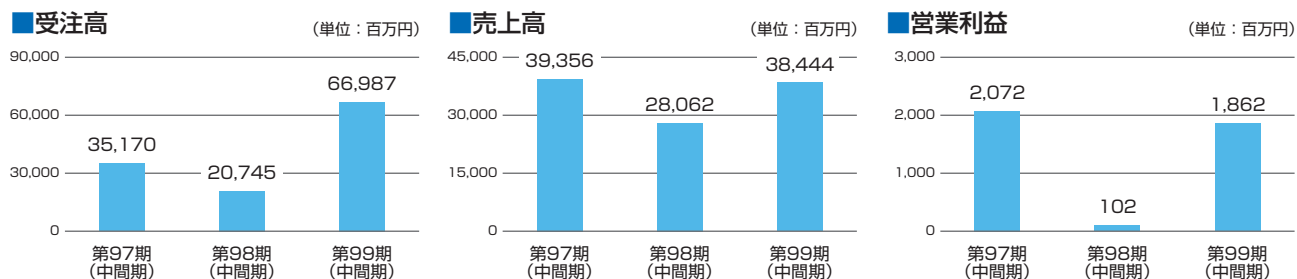
事業別の概況

成形機事業【射出成形機、ダイカストマシン、押出成形機など】

射出成形機においては、販売は国内、インド、中国、東南アジアで増加しました。受注は国内、北米、中国を中心に増加しました。ダイカストマシンにおいては、販売は中国の自動車向けが増加しました。受注は国内、中国、東南アジアなどで自動車向けを中心とした設備投資需要が回復したことにより増加しました。

押出成形機においては、販売は中国のリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置などが増加しました。受注はEV関連の設備投資需要の拡大に伴い、中国のリチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置が大幅に増加したことに加え、国内の食品容器向けシート・フィルム製造装置が増加しました。

この結果、成形機事業全体の受注高は669億8千7百万円（前年同期比222.9%増）、売上高は384億4千4百万円（前年同期比37.0%増）、営業利益は18億6千2百万円（前年同期比1,716.4%増）となりました。

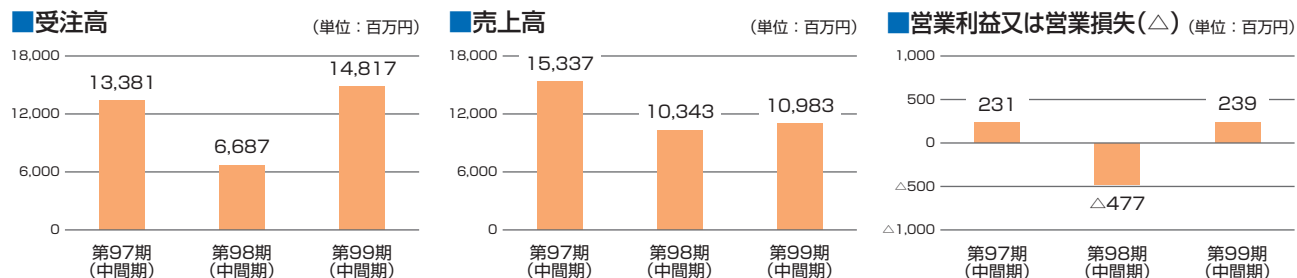


工作機械事業【工作機械（大型機、門形機、横中ぐり盤、立旋盤など）、超精密加工機など】

工作機械においては、販売は中国の産業機械向けおよび風力発電向けが増加したものの、国内の産業機械向けが減少しました。受注は国内、北米、中国の産業機械向けが大幅に増加しました。

超精密加工機においては、販売は中国、台湾の光学系金型向けが増加しました。受注は中国の光学系金型向けが大幅に増加しました。

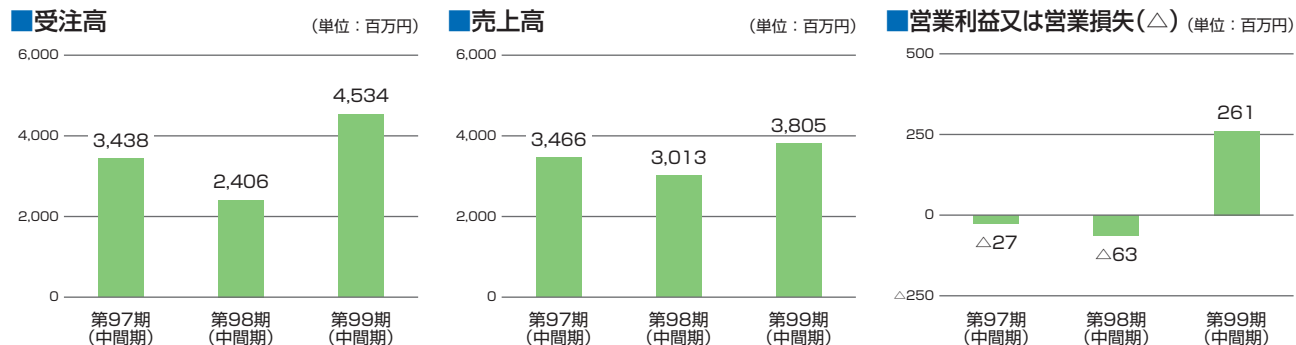
この結果、工作機械事業全体の受注高は148億1千7百万円（前年同期比121.6%増）、売上高は109億8千3百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は2億3千9百万円（前年同期は営業損失4億7千7百万円）となりました。



制御機械事業 [産業用ロボット、電子制御装置など]

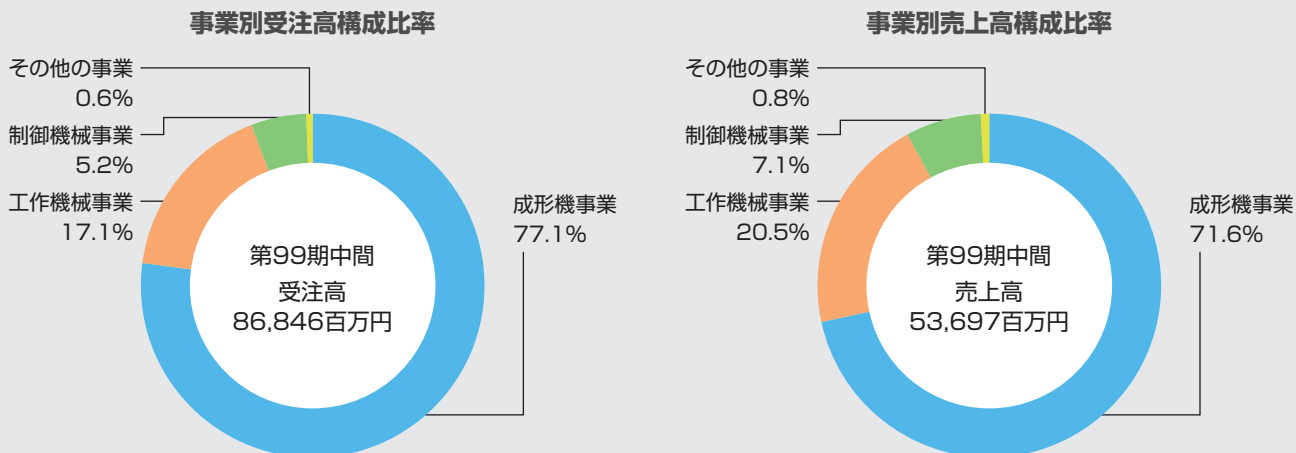
制御機械事業においては、販売および受注は国内の半導体製造装置向け電子制御装置が増加しました。

この結果、制御機械事業全体の受注高は45億3千4百万円（前年同期比88.4%増）、売上高は38億5百万円（前年同期比26.3%増）、営業利益は2億6千1百万円（前年同期は営業損失6千3百万円）となりました。



その他の事業

その他の事業全体の受注高は5億7百万円（前年同期比33.3%減）、売上高は4億6千3百万円（前年同期比47.8%減）、営業損失は7百万円（前年同期は営業利益8千9百万円）となりました。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

| 科 目 | 第99期中間期 (2021年9月30日現在) | 第98期 (2021年3月31日現在) | 科 目 | 第99期中間期 (2021年9月30日現在) | 第98期 (2021年3月31日現在) |
|-----------------|---------------------------|------------------------|--------------------|---------------------------|------------------------|
| 資 産 の 部 | | | 負 債 の 部 | | |
| 流 動 資 産 | 114,707 | 102,752 | 流 動 負 債 | 52,919 | 38,969 |
| 現金及び預金 | 47,074 | 42,417 | 支払手形及び買掛金 | 22,459 | 17,613 |
| 受取手形及び売掛金 | - | 27,682 | 短期借入金 | 10,590 | 10,590 |
| 受取手形、売掛金及び契約資産 | 20,015 | - | リース債務 | 64 | 40 |
| 商品及び製品 | 16,242 | 6,736 | 未払法人税等 | 283 | 74 |
| 仕掛品 | 27,455 | 22,327 | 未払費用 | 2,145 | 2,341 |
| 原材料及び貯蔵品 | 46 | 64 | 賞与引当金 | 1,180 | 1,096 |
| その他の流動資産 | 3,909 | 3,560 | 製品保証引当金 | 577 | 591 |
| 貸倒引当金 | △ 36 | △ 37 | 前受金 | - | 5,345 |
| 固 定 資 産 | 32,085 | 31,543 | 契約負債 | 14,472 | - |
| 有形固定資産 | 20,525 | 20,758 | その他の流動負債 | 1,145 | 1,275 |
| 建物及び構築物 | 9,666 | 9,903 | 固 定 負 債 | 13,412 | 13,174 |
| 機械装置及び運搬具 | 2,990 | 2,718 | 長期借入金 | 3,550 | 3,800 |
| 土地 | 7,044 | 7,098 | リース債務 | 113 | 79 |
| リース資産 | 168 | 111 | 長期未払金 | 5 | 5 |
| 建設仮勘定 | 196 | 474 | 繰延税金負債 | 1,008 | 570 |
| その他の有形固定資産 | 458 | 452 | 役員退職慰労引当金 | 56 | 58 |
| 無形固定資産 | 756 | 571 | 退職給付に係る負債 | 8,504 | 8,518 |
| その他の無形固定資産 | 756 | 571 | 資産除去債務 | 140 | 105 |
| 投資その他の資産 | 10,803 | 10,213 | その他の固定負債 | 33 | 36 |
| 投資有価証券 | 8,878 | 8,341 | 負 債 合 計 | 66,332 | 52,144 |
| 出資金 | 493 | 493 | 純資産の部 | | |
| 長期貸付金 | 5 | 6 | 株 主 資 本 | 75,047 | 77,198 |
| 繰延税金資産 | 500 | 409 | 資本金 | 12,484 | 12,484 |
| その他の投資 | 2,216 | 2,272 | 資本剰余金 | 11,538 | 11,538 |
| 貸倒引当金 | △ 1,291 | △ 1,310 | 利益剰余金 | 67,346 | 69,522 |
| 資 産 合 計 | 146,792 | 134,296 | 自己株式 | △ 16,322 | △ 16,346 |
| | | | その他の包括利益累計額 | 5,413 | 4,953 |
| | | | その他有価証券評価差額金 | 4,126 | 3,749 |
| | | | 為替換算調整勘定 | 1,743 | 1,737 |
| | | | 退職給付に係る調整累計額 | △ 457 | △ 533 |
| | | | 純 資 産 合 計 | 80,460 | 82,152 |
| | | | 負債・純資産合計 | 146,792 | 134,296 |

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 第99期中間期 | 第98期中間期 |
|---|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2021年4月1日から 2021年9月30日まで) | (2020年4月1日から 2020年9月30日まで) |
| 売 上 高 | 53,697 | 42,307 |
| 売 上 原 価 | 38,162 | 30,923 |
| 売 上 総 利 益 | 15,535 | 11,384 |
| 販売費及び一般管理費 | 13,157 | 11,700 |
| 営業利益又は営業損失(△) | 2,377 | △ 315 |
| 営 業 外 収 益 | 533 | 498 |
| 営 業 外 費 用 | 560 | 887 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 2,349 | △ 705 |
| 特 別 利 益 | 13 | 4 |
| 特 別 損 失 | 18 | 296 |
| 税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△) | 2,345 | △ 997 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 341 | 238 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | 210 | △ 184 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 1,792 | △ 1,052 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | 1,792 | △ 1,052 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 第99期中間期 | 第98期中間期 |
|---------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (2021年4月1日から 2021年9月30日まで) | (2020年4月1日から 2020年9月30日まで) |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 6,693 | △ 5,408 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △ 875 | △ 571 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △ 1,198 | △ 4,042 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 36 | △ 46 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 4,656 | △ 10,068 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 42,417 | 48,011 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 47,074 | 37,943 |

連結財務諸表のポイント

資 産

当第2四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ124億9千6百万円増加し、1,467億9千2百万円となりました。増加の主な内訳は、受取手形、売掛金及び契約資産が76億6千7百万円減少したものの、現金及び預金が46億5千6百万円、商品及び製品が95億6百万円、仕掛品が51億2千8百万円増加したこと等によります。

負 債

負債は、前連結会計年度末に比べ141億8千8百万円増加し、663億3千2百万円となりました。増加の主な内訳は、支払手形及び買掛金が48億4千6百万円、契約負債が91億2千7百万円増加したこと等によります。

純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ16億9千2百万円減少し、804億6千万円となりました。減少の主な内訳は、「収益認識に関する会計基準」等の適用に伴う期首調整や剰余金の配当により利益剰余金が減少したこと等によります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は54.8%となりました。

キャッシュ・フロー計算書

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、前連結会計年度末に比べ46億5千6百万円増加し、470億7千4百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における各活動によるキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、66億9千3百万円の増加になりました。これは主として、仕入債務の増加額51億7千万円等があったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、8億7千5百万円の減少になりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出8億円等があったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、11億9千8百万円の減少になりました。これは主として、配当金の支払額9億5百万円等があったことによります。

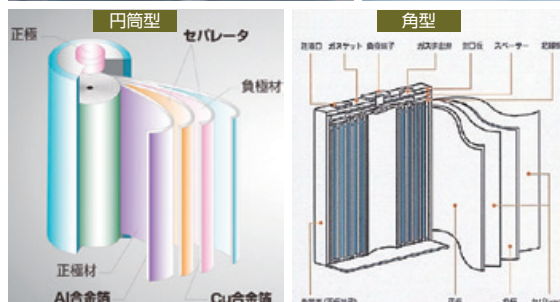
■活況となっているEV用「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」のご紹介

「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」とは？

「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」は、EV（電気自動車）などに搭載されるリチウムイオン電池の構成部材であるセパレータフィルム*を製造する装置です。EVの世界的な普及を背景として、リチウムイオン電池需要拡大に伴いセパレータフィルム需要も拡大することが今後見込まれ、当社の「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」へのニーズも高まることが期待されます。

※セパレータフィルム

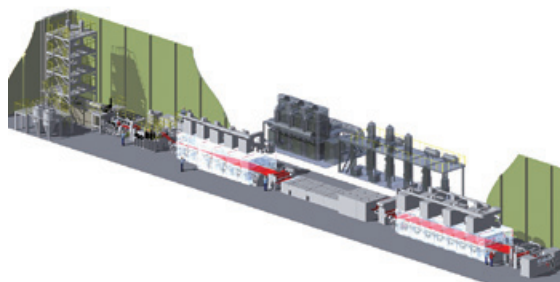
セパレータフィルムは正極、負極、電解質溶液と並びリチウムイオン電池の重要構成要素であり、リチウムイオン電池の正極・負極間に位置する多孔質膜でリチウムイオンを透過させるとともに、接触を遮断しショートを防ぐフィルムです。



当社「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」の特徴

EV用リチウムイオン電池には高い安全性が求められており、当社装置はそれに対応した高精度なフィルムを効率的に生産することが可能です。

また、「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」は複数のユニットから構成される全長100mを超える大型設備です。当社は本装置の全てのユニットをフルラインで提供できることが強みです。

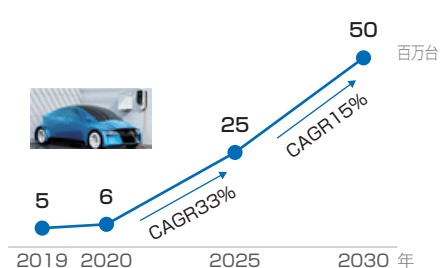


リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置

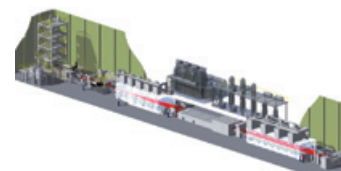
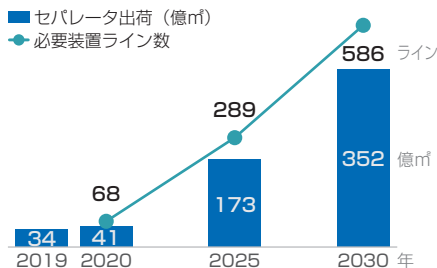
EVの普及と装置市場の拡大

当第2四半期連結累計期間において、「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」の受注が大幅に増加しました。EVの世界的な普及に伴い今後さらにリチウムイオン電池需要も急速に拡大していくことが見込まれます。「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」の市場も拡大が見込まれ、当社押出成形機事業の拡大に寄与することが期待されます。

■ xEV販売予測 (EV+PHEV+HEV)



■ 装置市場見通し



xEV販売予測は株式会社矢野経済研究所(2021.9)より引用
xEV1台あたりセパレータ使用量を700㎡と仮定、「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」1ライン生産能力60百万㎡と仮定し、必要装置ライン数を試算

中国国際輸入博覧会において設備導入契約調印式に参加

EV関連投資が積極的に行なわれている中国において当社装置も注目されており、このたび2021年11月5日～10日に中国上海市において開催の中国国際輸入博覧会に参加し、中国企業2社と「リチウムイオン電池向けセパレータフィルム製造装置」の複数ライン導入についての契約に調印いたしました。



■ 「統合報告書2021」を発行

長期持続的な企業価値向上への取り組みを幅広いステークホルダーの皆さまにご理解いただくため、本年度より統合報告書を発行しています。「統合報告書2021」は、当社ホームページ (<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/ir/library/report/>) よりご覧いただけます。



グローバルネットワーク (2021年9月30日現在)

国内拠点

- 本社**
製造拠点
販売拠点
- 東京本社、● 沼津本社
 - 工場 沼津、相模、御殿場
 - 東京本社
 - 支店 東北、中部、関西、九州
 - 営業所 高崎、浜松、広島、尾道



沼津本社
沼津工場



相模工場



御殿場工場

海外拠点

- 製造拠点**
販売拠点
- 工場 中国、インド、タイ
 - 全44拠点
 - 東アジア 9拠点
 - 東南アジア 26拠点 (インド19拠点含む)
 - 北米・中南米 7拠点
 - 欧州 2拠点

● 中国工場
SHIBAURA MACHINE
(SHANGHAI) CO., LTD.



● インド工場
SHIBAURA MACHINE
INDIA PRIVATE LIMITED



● タイ工場
SHIBAURA MACHINE MANUFACTURING
(THAILAND) CO., LTD.



会社の概況／株式の状況 (2021年9月30日現在)

会社の概況

- ① 所在地
東京都千代田区内幸町二丁目2番2号
- ② 創業
1938年(昭和13年)12月
- ③ 設立
1949年(昭和24年)3月
- ④ 資本金
124億8千4百万円
- ⑤ 従業員数
連結：3,082名(前期末比1名増)
単独：1,693名(前期末比39名増)
- ⑥ 役員(2021年12月1日現在)
- | | |
|--------------|------|
| 代表取締役会長 | 飯村幸生 |
| 代表取締役社長 | |
| 最高経営責任者 | 坂元繁友 |
| 最高執行責任者 | |
| 社長執行役員 | |
| 取締役役員 | 小林昭美 |
| 専務執行役員 | |
| 取締役役員 | 大田浩昭 |
| 最高財務責任者 | |
| 専務執行役員 | |
| 社外取締役 | 佐藤潔 |
| 社外取締役 | 岩崎清悟 |
| 社外取締役 | 井上弘峰 |
| 社外取締役 | 寺脇一知 |
| 社外取締役 | 早川知佐 |
| 取締役(常勤監査等委員) | 高橋宏 |
| 社外取締役(監査等委員) | 宇佐美豊 |
| 社外取締役(監査等委員) | 今村昭文 |

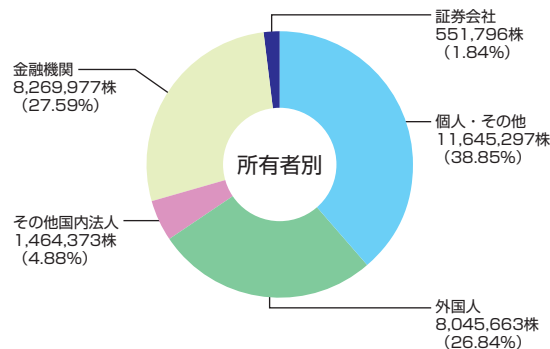
株式の状況

- (1) 発行可能株式総数 72,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 29,977,106株
(自己株式5,822,659株含む)
- (3) 株主数 12,881名
(前期末比829名減)
- (4) 大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数 | 持株比率 |
|---|---------|--------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 3,427千株 | 14.19% |
| 株式会社日本カステディ銀行(信託口) | 2,019 | 8.36 |
| UBS AG LONDON ASIA EQUITIES | 738 | 3.06 |
| 株式会社東芝 | 667 | 2.76 |
| 株式会社静岡銀行 | 596 | 2.47 |
| BNYM AS AGT/CLTS NON TREATY JASDEC | 579 | 2.40 |
| 芝浦機械従業員持株会 | 560 | 2.32 |
| 芝浦機械取引先持株会 | 544 | 2.25 |
| 株式会社三井住友銀行 | 536 | 2.22 |
| BBH FOR GLOBAL X ROBOTICS AND ARTIFICIAL INTELLIGENCE ETF | 430 | 1.78 |

- (注) 1. 当社は、自己株式を5,822,659株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

(5) 株式の分布状況



- (注) 自己株式を含みます。

株主メモ

| | |
|---------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月 |
| 基準日 | 定時株主総会については3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める日 |
| 期末配当基準日 | 毎年3月31日 |
| 中間配当基準日 | 毎年9月30日 |
| 公告方法 | 電子公告 https://www.shibaura-machine.co.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 郵便物送付先 | 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行なっております。 |

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



個人投資家向けHPのご案内



個人投資家の皆さまに当社へのご理解を深めていただくためのページをご用意しております。ご高覧の上、下記のアンケートにてご感想、掲載内容へのご意見等いただければ幸いです。

<https://www.shibaura-machine.co.jp/jp/ir/private/>

株主の皆さまの声をお聞かせください

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <https://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **6104**

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入) アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

- アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2mediaについての詳細<https://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。(1809)

- アンケートのお問い合わせ
「e-株主リサーチ事務局」

MAIL: info@e-kabunushi.com